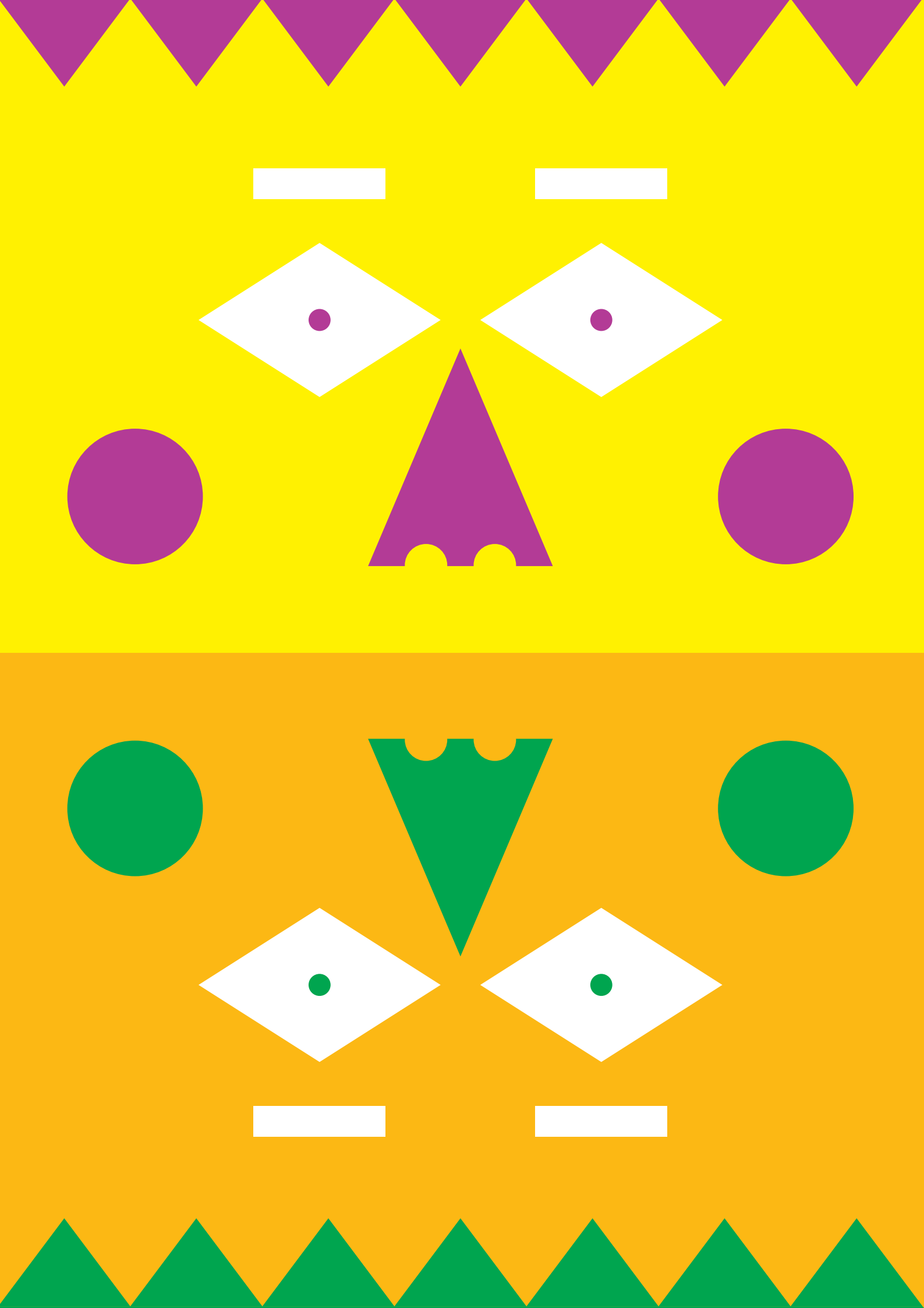

虹の足もとには宝が埋まっている。

なんて言いますよね。稽古場ってとっても面白いんです。演出と俳優の間に生じる言葉のズレや、ボタンのかけ違い。俳優からの影響、演出家によって稽古場の空気って違って来るんです。俳優の演技がどんどん変わっていく様子。もしくは、頑なな俳優にどう現実を変えていくか。これは、1人の俳優に対してワークショップしている演出家を観察するというワークショップです。観察すればするほど、虹は見えなくなっていって、あなたが何をみたいのかわかるかもしれません。

2016 11.26 土 森林浴アトリエ

2017 1.14 土 應典院

ワークショップをする演出家

笠井友仁

エイチエムピー・シアターカンパニー

「演劇」をテーマにしたワークショップをします。参加者の皆さんと一緒に演劇の「魅力」や「可能性」について考えてたいと思います。演劇を全く知らない方から、もっともっと知りたい方まで、ぜひお越しください。皆さんのご参加をお待ちしています。

1979年生まれ。宮城県仙台市出身。演出家。エイチエムピー・シアターカンパニー所属。NPO法人大阪現代舞台芸術協会理事長。日本演出者協会会員。代表作に『ハムレットマシーン』(2002年)、『traveler』(2005年)、『Politics! Politics! Politics and Political animals』(2010年) などがある。2005年に「日本演出者協会若手演出家コンクール優秀賞」受賞。2007年に京都芸術センター舞台芸術賞にノミネート。2008年にTheater treffen (ベルリン演劇祭) のインターナショナルフォーラムに参加。2014年にアイホールにて上演した『アラビアの夜』の演出にて「文化庁芸術祭新人賞」を受賞。

ワークショップを受ける俳優

つぼさかまりこ

演劇集団あしたかぜ

「恥ずかしがるな！」演劇を始めて最初に受けたダメ出しだ。「人様の前に出て何かをするってだけで恥ずかしいのに！」ごもっとも。演劇に足を突っ込んでもう10年を少し超えてしまった。人見知りのあがり症は変わらないが、今は舞台上では真っ裸でいるつもり。が、あくまで舞台上のお話。稽古風景を見せるとなって、果たして太刀打ちできるのだろうか。私はこの恐ろしい企画を精一杯楽しもうと意気込んでいる。

近畿大学文芸学部芸術学科舞台芸術専攻。当時大猿の仲とされていた同校演劇部覇王樹座に同時入部し、橋渡しになるべく四年間活動。学部・部活動で培ったスタッフワークの経験を生かし、照明スタッフを主として関西小劇場の様々な団体の作品づくりに尽力している。『演劇集団あしたかぜ』主宰　関西弁の方言を使ったより日常的で自然な会話の中で真摯に等身大で描いていく。

ワークショップをする演出家

2016 11.21 月 森林浴アトリエ

2017 1.16 月 應典院

森本洋史

桃園会

実際にワークショップを行うときに僕には何が出来るのだろうと考えてみます。すると思いつくものはどれも人から頂いた財産。それだと財産の共有ですね。ワークショップではそのまま共有をしていくのではなく、研究をしていきます。僕が今気になっているのは「呼吸と緊張」の関係です。気になりすぎて最近格闘技も初めました。会話から生じる緊張やストレスを逃したり貯めたり発散して流れが良くなる研究をしていこうと思ってます。

所属、桃園会（大阪）。主宰の深津篤史を師事。劇団での役職は演出助手。2006年6-7月桃園会第31回公演『もういいよ』(演出助手) 以降、桃園会作品すべての演出助手。個人活動では、海外戯曲の上演ユニット、おにぎり貿易の演出を担当。

虹の足を捉える

演出家を展示

森木木浴
思考採集イベント
『指紋は象のはたけ』

http://shinrinyoku.html.xdomain.jp

そのいち @ 森林浴アトリエ

2016 11.21 月 19:00-20:30 森本洋史
11.26 土 19:00-20:30 笠井友仁

森林浴アトリエ
大阪市大正区「平尾」バス停
集合後、アトリエへ向かいます

¥ 1200円

予約：森林浴メールアドレスにて
unit.shinrinyoku@gmail.com

そのに @ 應典院

2017 1.14 土 16:30-18:00 笠井友仁
1.16 月 16:30-18:00 森本洋史

【入場受付時間】両日12:30～

應典院
地下鉄堺筋線・近鉄線「日本橋駅」⑧出口より東へ徒歩7分／地下鉄谷町線「谷町９丁目駅」・近鉄線「大阪上本町駅」③出口より西へ徒歩8分

¥ ・『虹の足を捉える』お楽しみコース（120分ぶん）¥2400

さまざまな料金設定のお楽しみコースをご用意しております。詳細は森林浴ウェブサイトをご覧ください。

・パーチャル應典院1日通し券『せいかつほご』×1枚 ¥5000
×2枚 ¥8000
×3枚★ ¥9900

※『せいかつほご』チケットは土、日、月、火の入荷行　※『せいかつほご』チケットをお持ちの方はご指定日の『パーチャル應典院』イベントすべてに参加できますが、会場内でお楽しみいただけ「しごと」をすることが出来ません。会場外でお楽しみいただける「しごと」は可能です。

★ 仲間とシェアOK

2016.11.20 日 チケット発売

予約：Corich舞台芸術！
【 PC 】https://ticket.corich.jp/apply/78832/
【携帯】http://ticket.corich.jp/apply/78832/

パーチャル應典院とは？

2017年1月	11水	12木	13金	14土
			◆	
15日	16月	17火	18水	19木	20金	21土
	◆					

パーチャル應典院　◆『虹の足を捉える』

1.13（金）～17（火）の期間中、「しごと」「お金」「商品」からなる疑似社会を会場内に作り、13:00～21:00まで複数のイベントを楽しめる企画です。『虹の足を捉える』もそのイベントのひとつ。会場に入るには60分ごとに1200円必要です。
【入場受付時間】12:30～19:00
※13日(金) のみ 15:00 ～

Flyer design : Kanagawa Ko (Kuma Kuma company)

虹の足を捉える

演出家を展示

森木木浴
思考採集イベント
『指紋は象のはたけ』

http://shinrinyoku.html.xdomain.jp

そのいち @ 森林浴アトリエ

2016 11.21 月 19:00-20:30 森本洋史
11.26 土 19:00-20:30 笠井友仁

森林浴アトリエ
大阪市大正区「平尾」バス停
集合後、アトリエへ向かいます

¥ 1200円

予約：森林浴メールアドレスにて
unit.shinrinyoku@gmail.com

そのに @ 應典院

2017 1.14 土 16:30-18:00 笠井友仁
1.16 月 16:30-18:00 森本洋史

【入場受付時間】両日12:30～

應典院
地下鉄堺筋線・近鉄線「日本橋駅」⑧出口より東へ徒歩7分／地下鉄谷町線「谷町９丁目駅」・近鉄線「大阪上本町駅」③出口より西へ徒歩8分

¥ ・『虹の足を捉える』お楽しみコース（120分ぶん）¥2400

さまざまな料金設定のお楽しみコースをご用意しております。詳細は森林浴ウェブサイトをご覧ください。

・パーチャル應典院1日通し券『せいかつほご』×1枚 ¥5000
×2枚 ¥8000
×3枚★ ¥9900

※『せいかつほご』チケットは土、日、月、火の入荷行　※『せいかつほご』チケットをお持ちの方はご指定日の『パーチャル應典院』イベントすべてに参加できますが、会場内でお楽しみいただけ「しごと」をすることが出来ません。会場外でお楽しみいただける「しごと」は可能です。

★ 仲間とシェアOK

2016.11.20 日 チケット発売

予約：Corich舞台芸術！
【 PC 】https://ticket.corich.jp/apply/78832/
【携帯】http://ticket.corich.jp/apply/78832/

パーチャル應典院とは？

2017年1月	11水	12木	13金	14土
			◆	
15日	16月	17火	18水	19木	20金	21土
	◆					

パーチャル應典院　◆『虹の足を捉える』

1.13（金）～17（火）の期間中、「しごと」「お金」「商品」からなる疑似社会を会場内に作り、13:00～21:00まで複数のイベントを楽しめる企画です。『虹の足を捉える』もそのイベントのひとつ。会場に入るには60分ごとに1200円必要です。
【入場受付時間】12:30～19:00
※13日(金) のみ 15:00 ～

Flyer design : Kanagawa Ko (Kuma Kuma company)

虹の足もとには宝が埋まっている。

なんて言いますよね。稽古場ってとっても面白いんです。演出と俳優の間に生じる言葉のズレや、ボタンのかけ違い。俳優からの影響、演出家によって稽古場の空気って違って来るんです。俳優の演技がどんどん変わっていく様子。もしくは、頑なな俳優にどう現実を変えていくか。これは、1人の俳優に対してワークショップしている演出家を観察するというワークショップです。観察すればするほど、虹は見えなくなっていって、あなたが何をみたいのかわかるかもしれません。

2016 11.26 土 森林浴アトリエ

2017 1.14 土 應典院

ワークショップをする演出家

笠井友仁

エイチエムピー・シアターカンパニー

「演劇」をテーマにしたワークショップをします。参加者の皆さんと一緒に演劇の「魅力」や「可能性」について考えてたいと思います。演劇を全く知らない方から、もっともっと知りたい方まで、ぜひお越しください。皆さんのご参加をお待ちしています。

1979年生まれ。宮城県仙台市出身。演出家。エイチエムピー・シアターカンパニー所属。NPO法人大阪現代舞台芸術協会理事長。日本演出者協会会員。代表作に『ハムレットマシーン』(2002年)、『traveler』(2005年)、『Politics! Politics! Politics and Political animals』(2010年) などがある。2005年に「日本演出者協会若手演出家コンクール優秀賞」受賞。2007年に京都芸術センター舞台芸術賞にノミネート。2008年にTheater treffen (ベルリン演劇祭) のインターナショナルフォーラムに参加。2014年にアイホールにて上演した『アラビアの夜』の演出にて「文化庁芸術祭新人賞」を受賞。

ワークショップを受ける俳優

つぼさかまりこ

演劇集団あしたかぜ

「恥ずかしがるな！」演劇を始めて最初に受けたダメ出しだ。「人様の前に出て何かをするってだけで恥ずかしいのに！」ごもっとも。演劇に足を突っ込んでもう10年を少し超えてしまった。人見知りのあがり症は変わらないが、今は舞台上では真っ裸でいるつもり。が、あくまで舞台上のお話。稽古風景を見せるとなって、果たして太刀打ちできるのだろうか。私はこの恐ろしい企画を精一杯楽しもうと意気込んでいる。

近畿大学文芸学部芸術学科舞台芸術専攻。当時大猿の仲とされていた同校演劇部覇王樹座に同時入部し、橋渡しになるべく四年間活動。学部・部活動で培ったスタッフワークの経験を生かし、照明スタッフを主として関西小劇場の様々な団体の作品づくりに尽力している。『演劇集団あしたかぜ』主宰　関西弁の方言を使ったより日常的で自然な会話の中で真摯に等身大で描いていく。

ワークショップをする演出家

2016 11.21 月 森林浴アトリエ

2017 1.16 月 應典院

森本洋史

桃園会

実際にワークショップを行うときに僕には何が出来るのだろうと考えてみます。すると思いつくものはどれも人から頂いた財産。それだと財産の共有ですね。ワークショップではそのまま共有をしていくのではなく、研究をしていきます。僕が今気になっているのは「呼吸と緊張」の関係です。気になりすぎて最近格闘技も初めました。会話から生じる緊張やストレスを逃したり貯めたり発散して流れが良くなる研究をしていこうと思ってます。

所属、桃園会（大阪）。主宰の深津篤史を師事。劇団での役職は演出助手。2006年6-7月桃園会第31回公演『もういいよ』(演出助手) 以降、桃園会作品すべての演出助手。個人活動では、海外戯曲の上演ユニット、おにぎり貿易の演出を担当。

Flyer design : Kanagawa Ko (Kuma Kuma company)